

**令和3年度**  
**全国学力・学習状況調査 結果概要**

**熊本県教育委員会**

# 1 調査の概要

- 調査実施日 令和3年（2021年）5月27日（木）

- 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

- 調査の対象

- ・ 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童
- ・ 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年、特別支援学校中学部第3学年の全生徒

- 調査の内容

- ・ 教科に関する調査（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学）
- ・ 質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

## 2 教科に関する調査の結果（公立小中学校）

本県の概要

- ・小学校では、**国語は全国平均を上回っており、算数は全国平均とほぼ同じ状況である。**
- ・中学校では、**国語は全国平均と同じ状況にあり、数学は全国平均を下回っている。**

	【小学校6年生】	
	国語	算数
熊本県	66%	70%
全国	64.7%	70.2%

	【中学校3年生】	
	国語	数学
熊本県	64%	55%
全国	64.6%	57.2%

※表中の数値は平均正答率（%）、県の値は国から整数値で公表

## 2 教科に関する調査の結果（各管内等）

	【小学校6年生】		【中学校3年生】	
	国語	算数	国語	数学
全国平均	64.7	70.2	64.6	57.2
県平均	66	70	64	55
宇城	67	70	62	54
玉名	68	72	62	52
菊池	67	71	65	56
阿蘇	65	68	64	55
上益城	63	68	63	54
八代	67	71	62	55
芦北	64	66	64	54
球磨	65	69	62	55
天草	67	71	64	55
山鹿市	70	74	66	56
熊本市	65	71	64	55

数値は  
平均正答率（%）

### 3 質問紙調査に関する調査の主な結果（公立小中学校）

	質問項目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
児童生徒	学校に行くのは楽しいと思いますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	87.3	83.4	+3.9	85.3	81.1	+4.2
	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の児童生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（「ほぼ毎日」＋「週1回以上」の割合）	56.6	39.0	+17.6	51.2	34.8	+16.4
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	78.3	78.3	+0.0	73.0	74.6	-1.6
	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	50.6	55.2	-4.6	57.9	62.8	-4.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（「発表していた」＋「どちらかといえば、発表していた」の割合）	57.7	63.5	-5.8	52.2	62.0	-9.8
	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか （学校の授業の予習や復習を含む） （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	73.0	74.0	-1.0	61.2	63.5	-2.3
学校	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか（「週に1回程度またはそれ以上」＋「月に数回程度」の割合）	82.3	73.9	+8.4	62.8	55.5	+7.3
	調査対象である児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている（「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」の割合）	88.0	85.3	+2.7	83.3	86.0	-2.7

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

単位(%)

# 3 質問紙調査に関する調査の主な結果（公立小中学校）

## ■ 成果

- ・「学校に行くのは楽しい」、「学校で、ICT機器を、他の児童生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用している」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- ・「新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間中、勉強について不安を感じた」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を下回っている。
- ・「校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った」と回答した学校の割合が、全国平均を上回っている。

子供たち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障するために取り組んだ成果

## ■ 課題

- ・「授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を下回っている。
- ・「自分で考えること」に関する項目が、全国平均を下回っている。

学校総体で、「子供の学びの側に立った授業づくり」、「主体的に家庭学習に取り組むための工夫」、「読解力向上」などに取り組むことが必要 ※「『熊本の学び』アクションプロジェクト」参照

## 4 今後の取組

- 県教育委員会では、今後、各学校において分析及び活用できる資料を、ホームページにて紹介していきます。

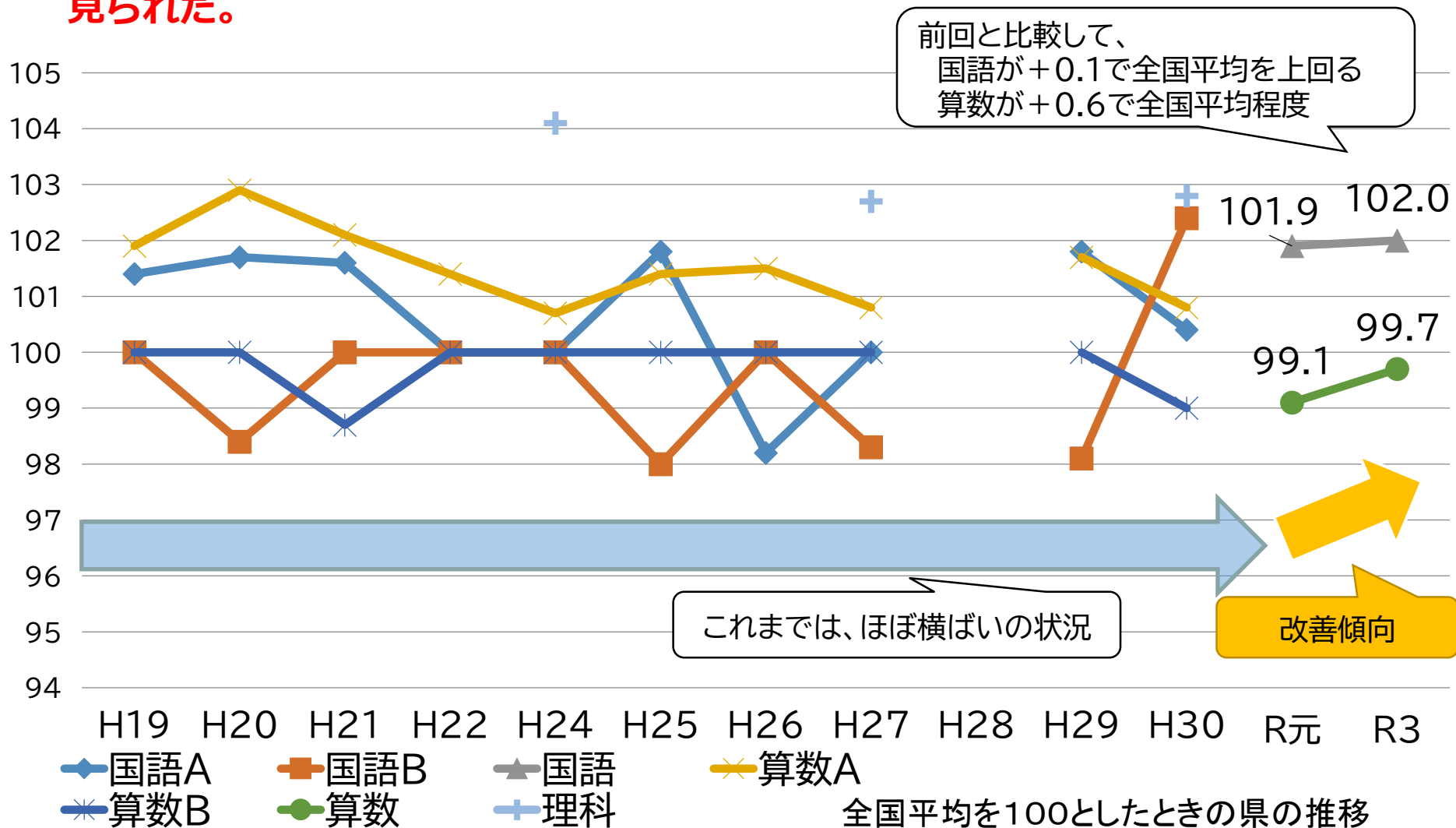
※ これまで本県で作成した授業改善につながる資料

**「熊本の学び」** <https://www.pref.Kumamoto.jp/site/kyouiku/list179-665.html>

- ・ 熊本の学び推進プラン（冊子）
  - ・ 「熊本の学び」アクションプロジェクト
  - ・ 令和2年度 「熊本の学び推進プラン」取組事例集
  - ・ 「熊本の学び」授業実践の7つのチェックリスト（授業の省察に生かす）
  - ・ 学習構想案
  - ・ 学習構想案作成のポイント
  - ・ 教科等における「見方・考え方」
- 等

# 参考資料 教科に関する調査の結果の推移（小学校）H19～

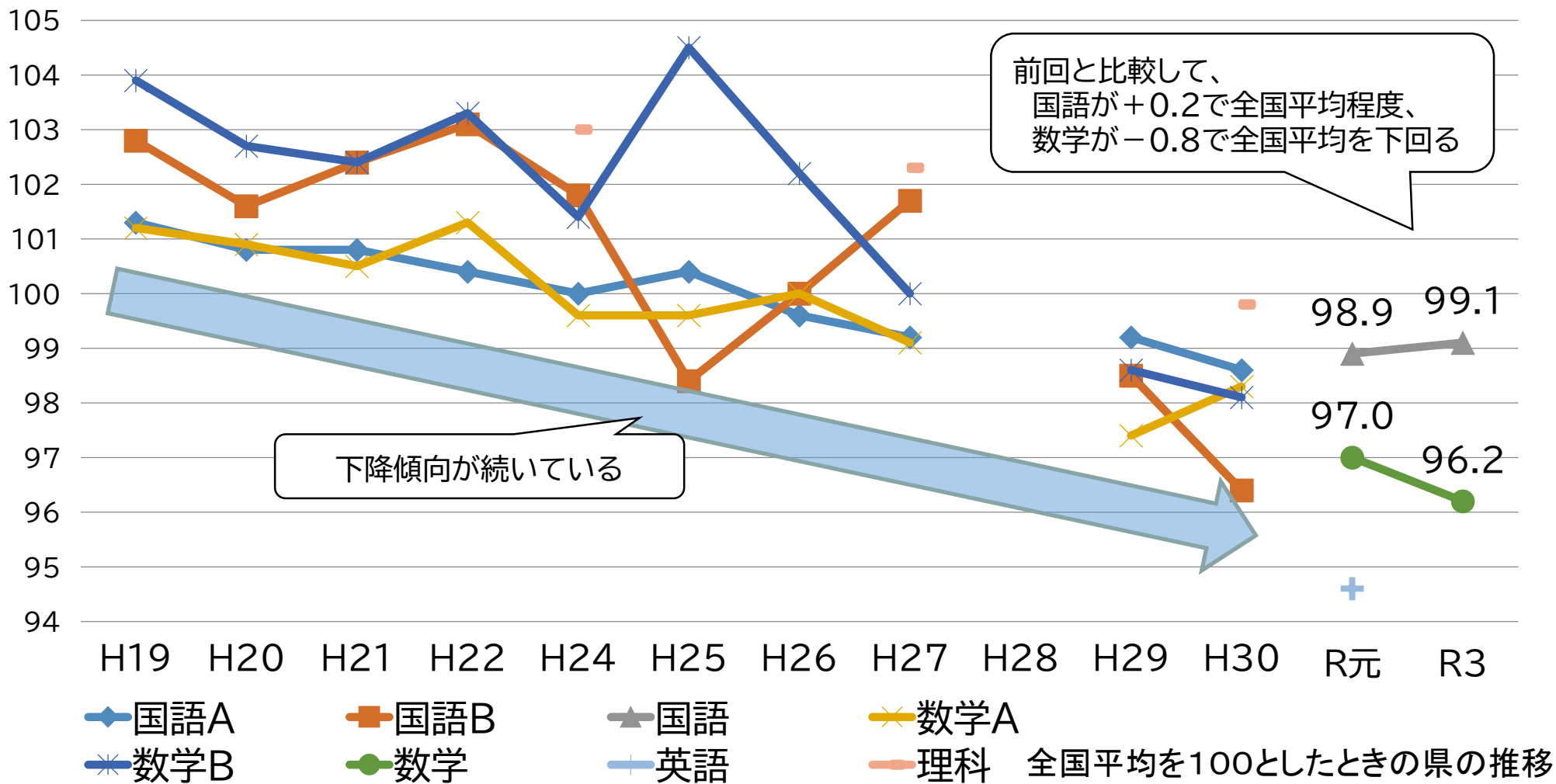
・ ほぼ横ばいの状態が続いているものの、本年度は、国語・算数ともに、改善傾向が見られた。





# 参考資料 教科に関する調査の結果の推移（中学校）H19～

- 令和元年度まで下降傾向が続いていたが、国語において改善傾向が見られた。数学は、依然として低下傾向がある。

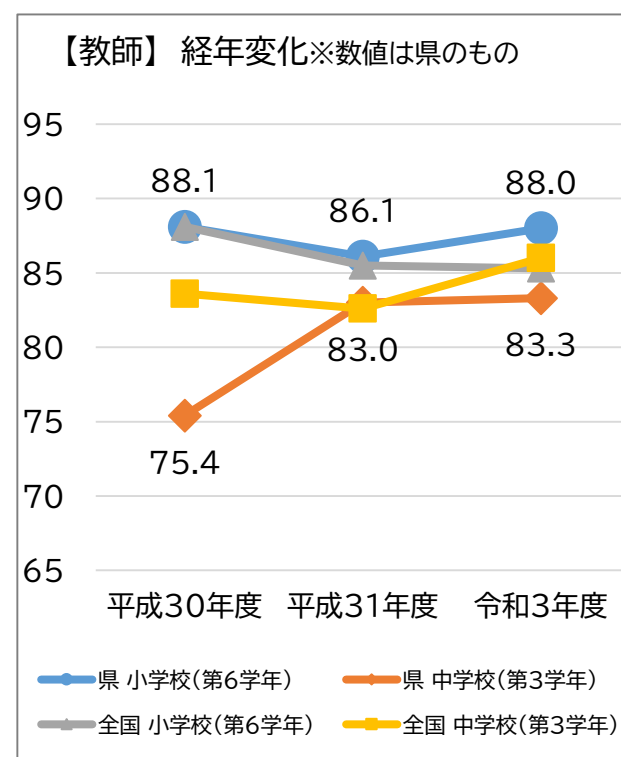
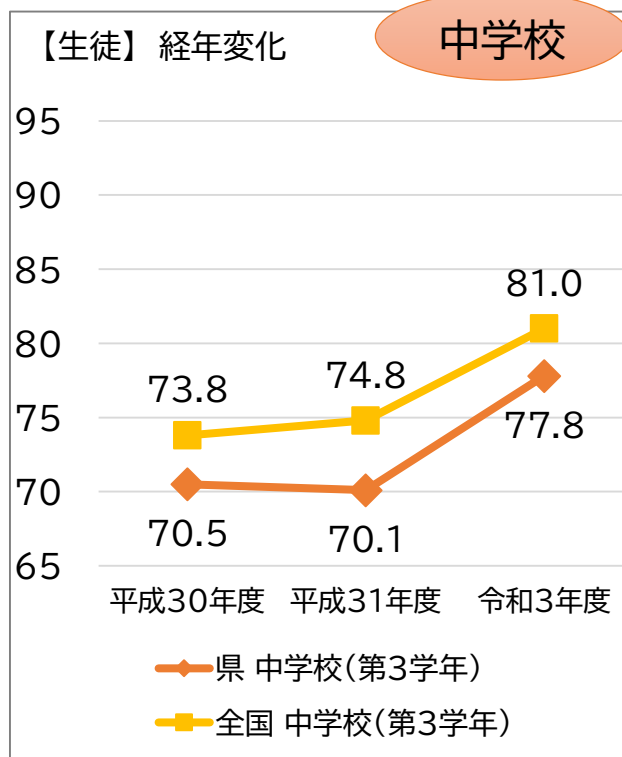
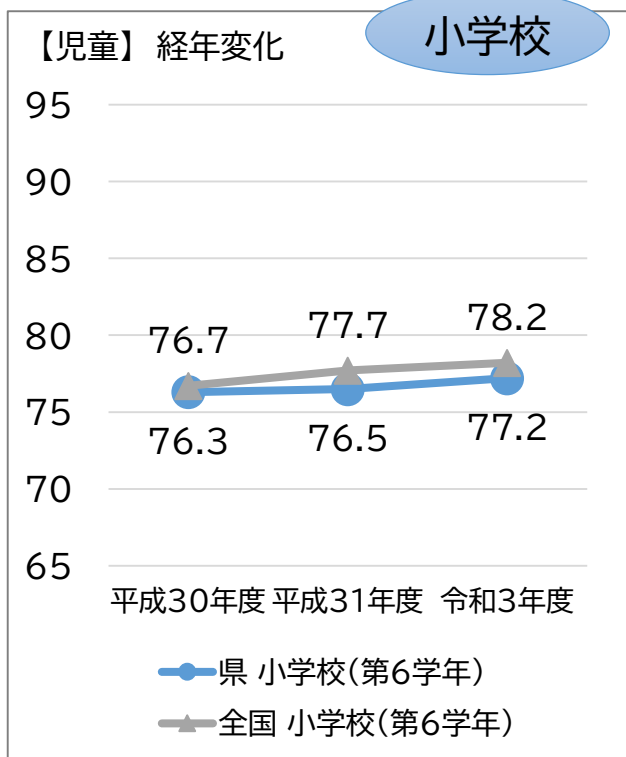


# 参考資料 「授業」に関する調査の結果の推移①

## ◇質問紙調査の分析（「熊本の学び」関連項目）

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合



- 小中共に、全国値より低いものの、全国との差は小さくなっている。
- 特に、中学校に大幅な改善が見られた。

○小中共に、前回より向上している。

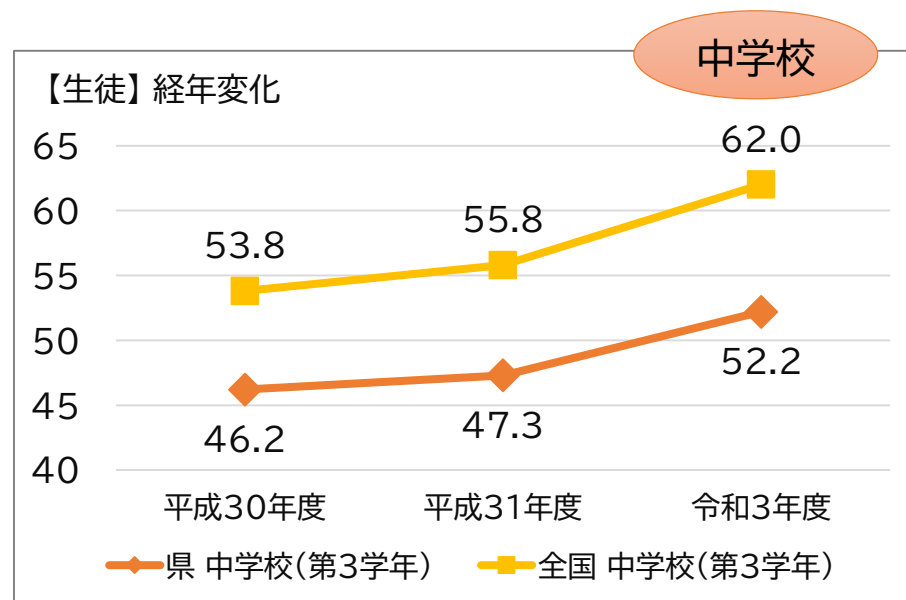
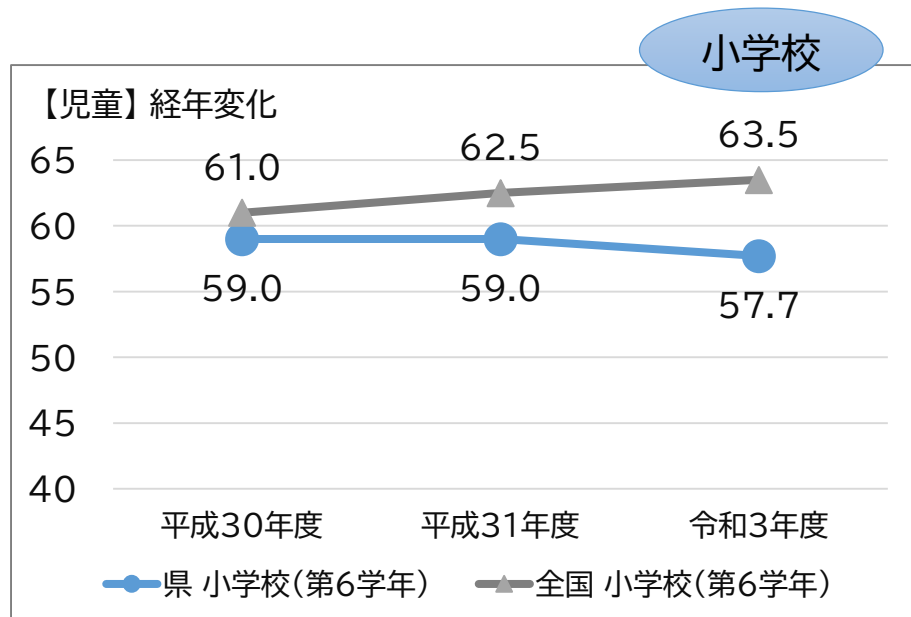
子供たちの学びの側に立った、単元を通じた学習課題の設定が必要  
※(「熊本の学び推進プラン」p28～p32)

# 参考資料 「授業」に関する調査の結果の推移②

## ◇児童生徒質問紙調査の分析（「熊本の学び」関連項目）

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

「発表していた」+「どちらかといえば、発表していた」の割合



○前回と比較して、小学校は低下し、中学校は改善傾向にある。

○小中共に全国平均よりも低い状況が続いている。

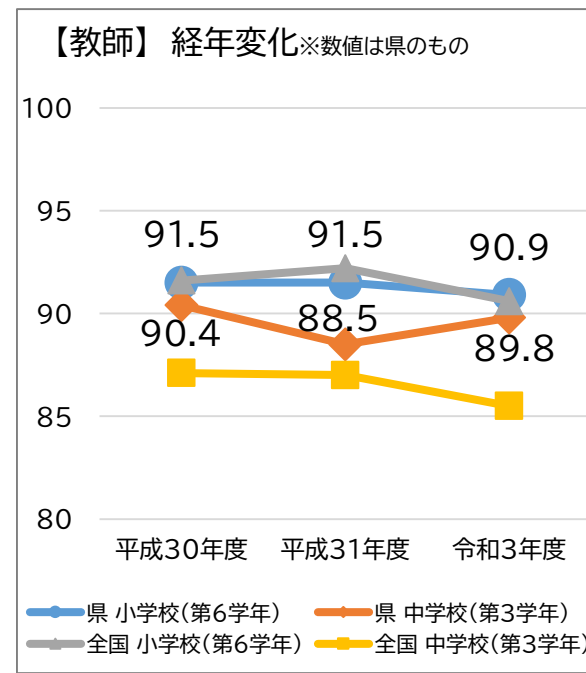
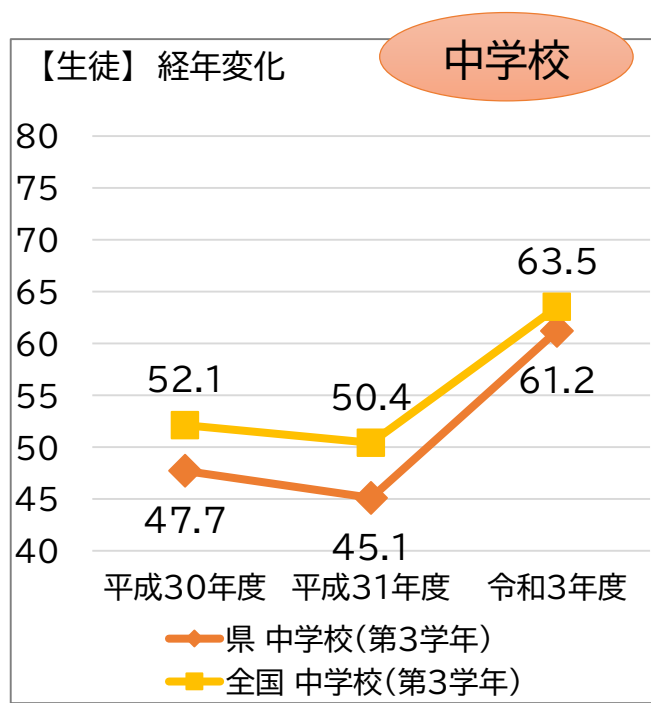
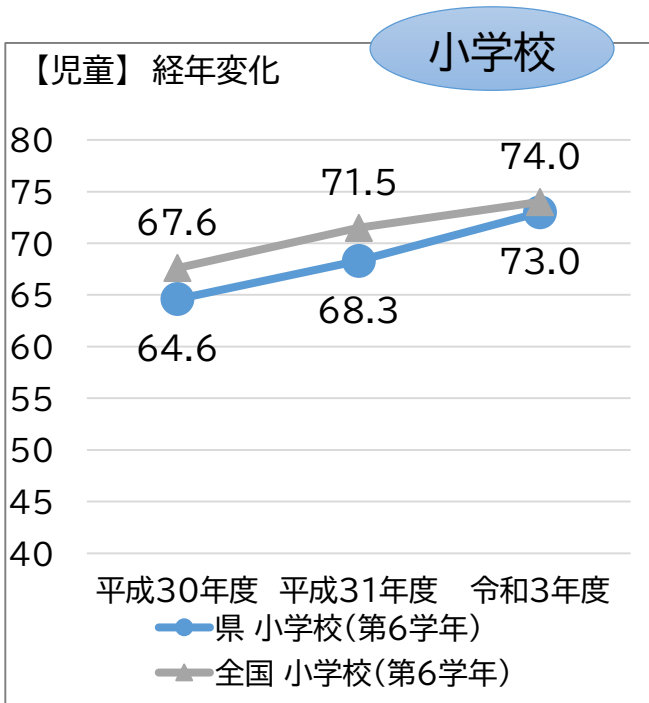
発表させる際は、自分の考えをノートにまとめるなどの取組が必要  
(「熊本の学び推進プラン」p36～p41)

# 参考資料 「家庭学習」に関する調査の結果の推移①

## ◇質問紙調査の分析（「熊本の学び」関連項目）

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む。） 「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」の割合

家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。  
「よく行った」+「どちらかといえば、行った」の割合



- 前回と比較して、小中共に改善傾向にある。
- 特に、中学校は大幅な改善が見られた。

- 小学校は、依然高い傾向にある。
- 中学校は、小学校と同等まで改善している。

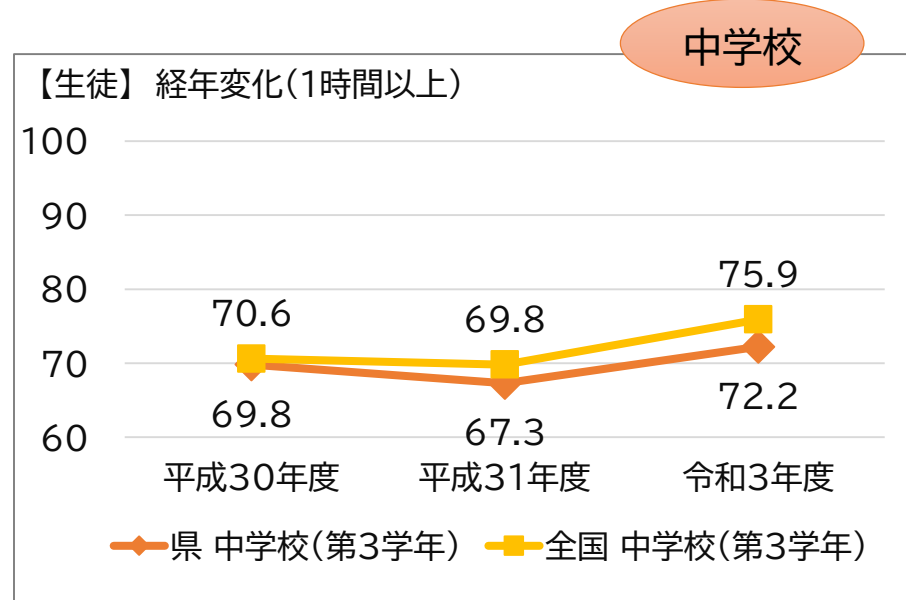
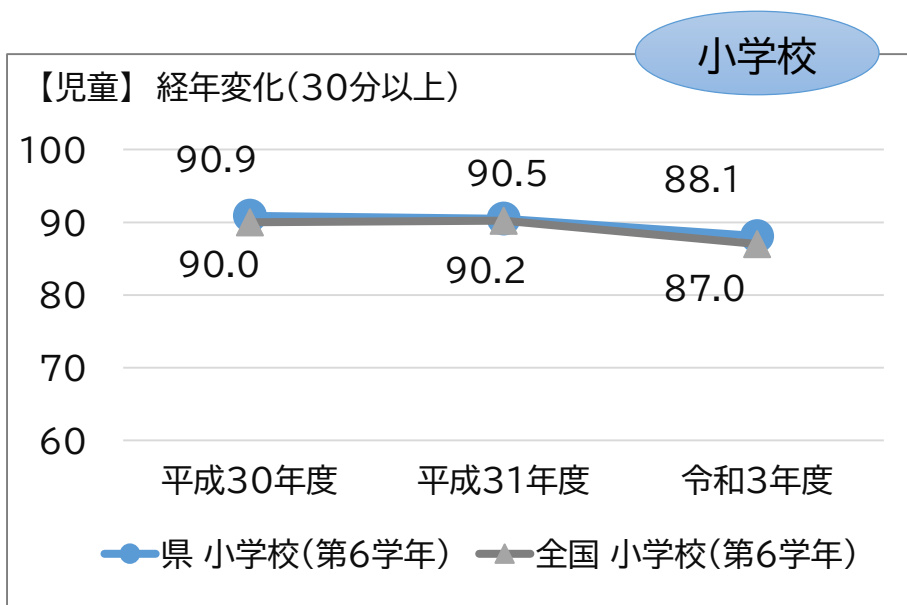
自分で計画を立てて、家庭学習に取り組むことができるように、家庭学習まで見通した授業の工夫が必要  
（「熊本の学び推進プラン」p91～p100）

# 参考資料 「家庭学習」に関する調査の結果の推移②

## ◇児童生徒質問紙調査の分析（「熊本の学び」関連項目）

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。)

小学校は、「30分以上」の割合、中学校は「1時間以上」の割合



- 小学校は、30分以上家庭学習をしている児童は低下しているものの、全国平均を上回っている。
- 中学校は、1時間以上家庭学習をしている生徒は増加しているが、全国平均を下回っている。

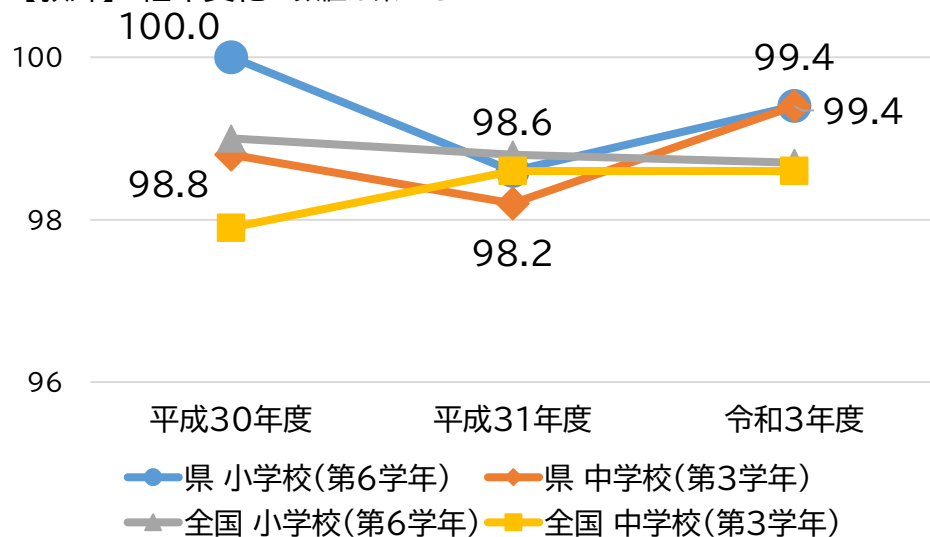
家庭学習は、毎日、小学校は30分以上、中学校は1時間以上するなど、継続した取組が必要  
(「熊本の学び推進プラン」p91～p100)

# 参考資料 「学級づくり」に関する調査の結果の推移

## ◇学校質問紙調査の分析（「熊本の学び」推進プラン 関連項目）

前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか。

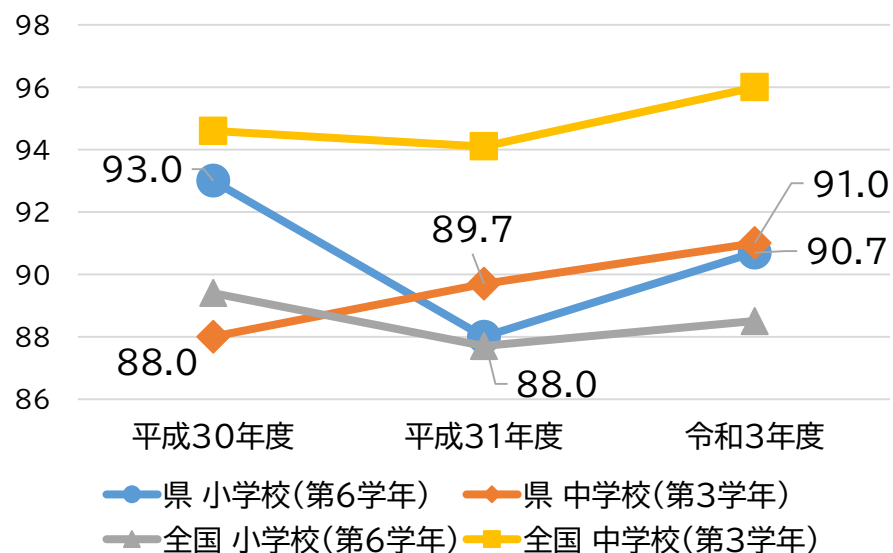
【教師】 経年変化※数値は県のもの



- 小中共に否定的回答はなかった。
- 全国的に高い数値ではあるものの、小中共に全国平均を上回っている。

授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

【教師】 経年変化※数値は県のもの



- 小中共に向上し、9割を超えている。
- 中学校は、全国平均より低い数値が続いている。

引き続き、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」県教育行動指標を踏まえた教育に取り組む  
 (「熊本の学び推進プラン」p66～p72)

# 参考資料「児童生徒に対する調査」のその他の結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
慣 基 等 本 生 的 活 生 習 活 習	朝食を毎日食べていますか	95.1	94.9	+0.2	94.2	92.8	+1.4
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.3	90.4	+0.9	93.3	92.7	+0.6
	普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含まれます。）をしますか（「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合）	28.3	29.0	-0.7	25.2	32.3	-7.1
規 挑 範 戦 意 心 識、 達 自 己 成 有 用 感 等 感	自分には、よいところがあると思いますか	76.1	76.9	-0.8	74.4	76.2	-1.8
	将来の夢や目標をもっていますか	80.3	80.3	+0.0	69.5	68.6	+0.9
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.6	96.8	-0.2	96.8	95.9	+0.9
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.5	95.5	+0.0	95.9	95.0	+0.9
	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.3	83.4	+3.9	85.3	81.1	+4.2
	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	69.5	70.3	-0.8	74.7	75.2	-0.5
学 学 習 習 慣 慣 等 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます。）	73.0	74.0	-1.0	61.2	63.5	-2.3
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）（小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合）	88.1	87.0	+1.1	72.2	75.9	-3.7
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）（「2時間以上」+「1時間以上、2時間より少ない」+「30分以上、1時間より少ない」+「10分以上、30分より少ない」の割合）	60.5	61.2	-0.7	45.8	50.1	-4.3

※質問項目の中から抽出



# 参考資料「児童生徒に対する調査」のその他の結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
地域や 社会	今住んでいる地域の行事に参加していますか	61.0	58.1	+2.9	43.3	43.7	-0.4
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	53.4	52.4	+1.0	44.0	43.8	+0.2
の I C T 機 器 の 活 用	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（「ほぼ毎日」+「週1回以上」の割合）	56.6	39.0	+17.6	51.2	34.8	+16.4
	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	95.4	94.5	+0.9	94.8	93.2	+1.6
主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び の 視 点 の 授 業 改 善	学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	80.1	82.6	-2.5	80.4	83.7	-3.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	57.7	63.5	-5.8	52.2	62.0	-9.8
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.2	78.2	-1.0	77.8	81.0	-3.2
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	76.7	78.8	-2.1	76.1	77.8	-1.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.3	78.3	+0.0	73.0	74.6	-1.6
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	73.2	73.0	+0.2	69.8	70.2	-0.4
響 ル 新 型 コ ロ ナ ウ イ の 影 響	多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	50.6	55.2	-4.6	57.9	62.8	-4.9
	多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	66.3	64.6	+1.7	36.8	37.6	-0.8
	多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	63.7	63.1	+0.6	49.4	48.4	+1.0

※質問項目の中から抽出



# 参考資料「学校に対する調査」のその他の結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
生徒指導	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	90.7	88.5	+2.2	91.0	96.0	-5.0
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	99.4	98.7	+0.7	99.4	98.6	+0.8
学校運営、教員の資質向上に関する状況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	82.3	73.9	+8.4	62.8	55.5	+7.3
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	94.9	94.4	+0.5	90.4	90.6	-0.2
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	96.7	93.6	+3.1	92.2	92.7	-0.5
	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	98.8	98.5	+0.3	98.2	97.2	+1.0
主体的・対話的で深い学びに関する視点・取組の状況	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	88.0	85.3	+2.7	83.3	86.0	-2.7
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	62.3	68.3	-6.0	73.7	75.6	-1.9
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思っていますか	74.4	75.8	-1.4	78.5	83.6	-5.1
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.0	88.1	+2.9	91.7	86.9	+4.8
家庭学習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	90.9	90.6	+0.3	89.8	85.5	+4.3
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）	96.1	95.5	+0.6	95.8	91.9	+3.9

※質問項目の中から抽出

# 参考資料「学校に対する調査」のその他の結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
ICT	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を教職員と児童〔生徒〕がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	68.7	44.7	+24.0	59.9	41.5	+18.4
	コンピューターなどのICT機器を活用した取組を児童〔生徒〕同士がやり取りする場面ではどの程度行っていますか。（「よく活用している」+「どちらかといえば活用している」の割合）	50.6	30.1	+20.5	39.5	25.8	+13.7
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	65.7	59.1	+6.6	76.6	65.0	+11.6
	平成31年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	52.7	48.1	+4.6	57.5	48.5	+9.0
用等の全学活果調	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	98.8	88.7	+10.1	94.6	85.8	+8.8
新型コロナウイルス感染症の影響	学校の全部を休業としていた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書に基づく学習内容の提示	98.1	93.4	+4.7	99.4	92.5	+6.9
	・学校が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	96.9	95.7	+1.2	96.4	95.3	+1.1
	・教科書会社やその他民間が作成したプリント等を配布（電子メールや学校のHP等を活用して配信する場合を含む）	90.4	85.8	+4.6	77.8	69.6	+8.2
	・児童生徒の自由研究や自主学習ノート等の学習	91.6	85.0	+6.6	81.4	74.1	+7.3
	・学校が作成した学習動画等を活用した学習	33.1	23.2	+9.9	33.6	26.7	+6.9
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	29.2	5.7	+23.5	22.8	7.4	+15.4

※質問項目の中から抽出